

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

5.17国土交通省要請行動 大臣署名5,120筆を提出

本省交渉

積算単価に沿った元請指導 12条団体優先使用の徹底を

全国ダンプ

5月17日（金）、全国ダンプ部会幹事会は、国土交通省への要請行動を実施しました。要請内容は、「低単価改善、12条団体等の使用促進、過積載等に対する背後責任の強化、残土処理問題、重量リミッター装着義務付け、違法改造車両の現場排除、労災保険の特別加入促進、建退共の徹底」

5月17日（金）、全国ダンプ部会幹事会は、国土交通省への要請行動を実施しました。要請内容は、「低単価改善、12条団体等の使用促進、過積載等に対する背後責任の強化、残土処理問題、重量リミッター装着義務付け、違法改造車両の現場排除、労災保険の特別加入促進、建退共の徹底」

過積載の根絶に向けて背後責任の追及強化を

「低単価改善措置」については、横坂副部長が「7年連続で引き上げられた積算単価はダンプ労働者に支払われていない。元請に対して強力な指導をはかるべき」と話しましたが、建設業課佐々木専門官は「年2回下請代金の適正な支払いに関する通達を出して業界団体を指導している」と回答。続いて、「週休2

日制にともなう単価改善」については、高橋立幹事（東海）が「週休2日の実施で5%の上乗せを認めると言っていますが、ダンプの場合は経費が掛かるので15%は必要であり、対応を変えて欲しい」と話すと、国交省は「実態に即した引上げを行っている」と回答するのみでした。山内副

発注者側の政策であり、単価も同じように引き上げれば良いはずだ」と追及しました。「12条団体等の優先使用」については、森谷部会長は「優先使用措置は各受注者へ徹底してありますが、大手ゼネコンの中には重層下請構造を持ち出して下請責任にすり替え、守っていません。ダンプ規制法制定をめぐる国会審議では、

ダンプの経済問題（低単価改善）を解決する手段として、12条団体の優先使用が必要であると全会派及び政府大臣もお墨付きを与えて法制化されました。私の地元福島県で個別に文書を出して元請指導を展開しています。国も同様の措置を実施すべき」と言及しました。佐藤工事監視官は、「指導事項は、今年度も各整備局に『指導の徹底について』という文書を出しました。共通仕様書への反映については、福島県の徹底の事例を紹介いただきましたが、所轄の方としては指導事項を引き続き周知させます」と述べました

発生者責任を徹底し不適切な処分をなくせ



12条団体優先使用措置の徹底、過積載対策の強化を要請しました。（5月17日東京・国土交通省）



建設残土の不適切処分の運搬に関与する超過積載ダンプ（東北道下り佐野IC付近）

「建設残土の不適切処分問題」は、山内副部長が「残土処分の責任」は公共民間を問わず発生者であることを確認し、「自由処分の場合、不適切な形で残土処分されるケースが多い。建設現場から出る土は元請責任であるという法改正をできないでしょうか」と話しました。国交省古堅課長補佐は「平成29年8月に省庁計画会議で『建設発生土の取り扱いに関わる実務担当者のための参考資料』をまとめた」との回答にとどめています。

直工費の支払いを求め 県建設業協会へ申し入れ

群馬ダンプ 建設業協会会員へ要望 常用単価54,500円

群馬ダンプ支部では、残土ダンプの単価引き上げ実現のために、「ダンプ常用単価の改定について」と題した要請文書を、群馬県建設業協会加盟全社278社に対し発送しました。また、同協会を訪問し、会長に直接会って組合の要望を伝えました。

要請文書の内容は、群馬県におけるダンプの直工費54,520円にもとづいて、常用単価54,500円(8時間稼働、税別)を求める内容で、全国ダンプ作成の「車持ちダンプ運転手が1日労働(8時間間運転)して貰える単価」と「国交省の損料算定をふま

た計算書」を添えて発送しました。公共工事設計労務単価は7年連続で引き上げられ、最低に落ち込んだ平成24年度と比較して48%・約5割も引き上げられています。一方で、市場でのダンプの常用単価は35,000円ほどで、「車持ちダンプ運転手が1日労働(8時間稼働)して貰える単価」の直工費金額でみると運転手労賃をそっくり除いた金額とほぼ同額となり、運転手労賃部分がそっくり搾取されていることになりました。

この異常とも言えるダンプ単価の現状を変えるために、発注者や元請に対する要請行動の強化と組合員の拡大が重要です。群馬ダンプ支部では以前から使用促進闘争に取り組んでいますが、今回の取り組みの目的は、県内の建設業界全体に組合の要求を示して、適正な単価を発注者及び業界全体に要求すること、それと大型公共工事に限定せずに使用促進闘争をすすめること、そして組合未加入者にもこの取り組みを広め、組織の拡大につなげることです。

**過積載根絶、単価改善
組合員拡大で奮闘しよう**
群馬ダンプ支部は5月26日(日)、広島市内で第35回定期大会を開催し組合員51人が参加しました。

主催者あいさつでは、坂井昇福議長は「昨年の西日本豪雨災害では、復旧工事等に多くの組合員が奮闘したこと、さらに呉市に対しては現場での過積載防止や長時間労働の改善指導の申し入れを行い成果があった」と強調しました。

武田喜成事務局長が、経過報告及び2019年度運動方針を提案しました。全ての議案等を賛成多数で採択するとともに新執行部を選出しました。最後に団結頑張ろうで大会を終えました。



使用促進闘争の強化、労災保険の特別加入促進を確認しました。(5月26日豊見城市内)

2019年4月吉日

群馬県建設業協会
会員様各位

全日本建設交通一般労働組合
全国ダンプ部会長 森谷 稔
群馬ダンプ支部
執行委員長 多胡 幾夫 (印略)

ダンプ常用単価の改定について

貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、すでに公表されている通り、2019年度も設計労務単価が引き上げられ、本年も1ヶ月前倒しで3月1日から実施されています。実に、7年連続の引き上げとなり、設計労務単価は公表開始(1997年)来の最高水準となりました。

ダンプ運転手(一般運転手)の労務費も過去最高となりましたが、工事現場に従事する運転手には引き上げ分が届いていません。そして、車持ち労働者の場合、本来は別枠で支払われる社会保険料分(国民健康保険・国民年金)が常用単価の中に紛れてしまっています。国交省の損料算定をふまえた計算(別紙参照)では、群馬のダンプ1日の直工費は54,520円となっています。

つきましては、様々な問題を一挙に解決出来ませんが10tダンプの常用単価を下記の様に改定させていただきますので、2019年3月1日以降の契約工事から適用して下さい。関係者のご理解をお願い致します。

記

常用単価 ¥54,500- (8時間稼働、税別)
(賃金、ダンプ・タイヤ損料、燃料代) 以上

群馬県建設業協会の全加盟企業へ配布しました。



強大な広島ダンプ支部建設の推進に向けて意思統一しました。(5月26日広島市内)

役員体制
議長 長 小林 豊数
副議長 長 坂井 昇
同 長 岩男 広昭
事務局 長 武田 喜成

**使用促進闘争の強化
労災保険の加入促進**
沖縄ダンプ

沖縄ダンプは5月26日(日)に、第21回定期大会を豊見城市内で開き、97名の組合員が参加しました。當間事務局長が活動報告と決算報告をしました。2018年度の使用促進闘争は業界の壁もあり200台足らずの就労。組織拡大では新たに7名の組合員が加入して昨年より200名以上の組織になったことを報告しました。その後、東江勇議長が運動方針案・予算案の提案を行いました。運動方針では、使用促進闘争を宮古島でも進め、単価改善の闘いの強化を提案しました。組合拡大では、今年度から労災保険の問い合わせが増えており、

現場入場の際に労災証明書の提出が求められてきています。沖縄は労災保険の未加入者が多いため、拡大の対象者は相当数います。周りの友人・知人を紹介して拡大目標達成に向け運動を強化することを提案しました。更に、今年7月の参議院選挙ではオール沖縄の統一候補の高良鉄美さんの勝利をめざし、全ての組合員が選挙権と棄権防止を呼び掛けることを提案し、全ての提案は採択されました。

西で初めて行いました。今回は範囲も広がって1班2キロの距離を8班に分かれて総距離16キロとなりました。今回は今までで一番、ゴミが少なかったです。毎回、道路清掃を行うには実行委員会を作り、数回の会議を重ねて詳細を詰めていきました。清掃を行う自治体を訪れ、ゴミの処理をお願いすることから始まり、お願いが決まったら、場所の下見と距離を測り、何班に分かれて行くかを決めました。その後は、国交省出先事務所、土木事務所、市町村に道路清掃ボランティアのお知らせを持って行きます。そこまですべて準備が整います。組合活動を少しでも役所を知ってもらえればと思っています。また、開催数も19回となり、開催場所を決めるのも段々と大変になってきましたが、就労に係る場所に満遍なく回れるように毎回、考えています。今回は秋に予定しています。

役員体制
議長 長 東江 勇
副議長 長 又吉 和一
書記 長 他 3名
同 長 當間 鉄平

**第19回道路清掃活動
52名が参加して奮闘**
埼玉ダンプ

埼玉ダンプ北部支部就労協議会では、5月19日(日)に52名参加で第19回道路清掃ボランティアを開催しました。今回は事務所のある加須市騎